

事業報告書

2026年(令和8年)3月31日

福山市長様

住所 福山市御幸町森脇181-1

団体名 御幸学区まちづくり推進委員会

代表者名 委員長 井上 誠

2024年(令和6年)4月1日付け 福東地第2号の2  
で交付決定のあった福山市地域まちづくり推進事業を、次のとおり実施  
しました。

事業名

御幸学区まちづくり推進事業

実施場所

御幸小学校ほか

事業費

2,457,228円

補助金額

2,361,000円

着手年月日

2025年(令和7年)4月1日

完成年月日

2026年(令和8年)3月31日

実施事業の経過及び内容

別紙事業内容報告書のとおり

事業成果

別紙事業内容報告書のとおり

添付書類

- 1 収支決算書       2 事業内容報告書  
 3 その他市長が必要と認める書類 ( 監査結果の写し )



## 2025年度 御幸学区（町・地区）地域まちづくり推進事業 事業内容報告書

事業番号	事業名 (内容)	詳細 (実施年月日、場所、参加人数など)	課題に対する成果	今後の改善点・課題	事業の振り返りをした場
1	安心・安全 推進事業	① 防災訓練（防災フェア） 11月23日（日） 御幸小学校 420人 ② 見守りボランティア活動 通年 学区内全域 78人 ③ 防災・減災啓発活動 防災・減災講習会「防災のまちづくり（水害について）」御幸交流館 危機管理防災課 地域防災担当次長 山口 達也 さん 55人 ④ 安心・安全啓発活動 11月 2日（土） 学区内7か所 啓発横断幕の点検・清掃作業 12月 8日（月） 安心・安全講習会 「知って安心！防犯教室」 福山市市民生活課 専門員 林 和徳 さん 48人	○防災訓練（防災フェア）では、自治会・町内会で1次避難場所に集合して点呼後、2次避難場所（御幸小学校）へ移動して点呼、各種の2次訓練等ができたことで、自治会・町内会として助け合うという意識の向上に繋がった。また、参加者も多かった。 ○「知って安心！防犯教室」を開催し、特殊詐欺に対する防犯意識を高めた。 ○見守りボランティアの皆さんのお陰で、児童・生徒の登下校時の安全確保ができた。	○防災訓練（防災フェア）には、小学生や中学生の参加もあり、今後も若い世代の参加を如何にして増やし、学区全体の防災・減災の意識の向上に努めるかが、ひとつの課題である。 ○災害時要支援者をはじめ高齢者の支援を身近な自治会・町内会、班などで共有していく。（「まちづくりミーティング」等検討会議を踏まえて） ○研修会を開催しても、周知徹底には時間を要すると思う。継続して実施するしかないと思う。	① 実行委員会会議 ②～④ 地域安全部会会議
2	福祉啓発事業	①「ニコニコ訪問活動」 通年 学区内 あいさつ安否確認 ②講演会・交流会 9月27日（土）モルックのルールを知ろう みゆきまちづくり広場 15人 2月22日（日）モルックをやってみよう みゆきまちづくり広場 40人 ③フードたすけあいネット活動 11月22日（土）・11月23日（日）11月29日（土）みゆきフェスタ2025 ④男の料理教室 2月7日（土） 御幸交流館 10人 ⑤「ちょっとした困りごと」相談支援活動 通年 ⑥「みゆきよりみちかふえ」運営協力活動 5月31日（土）・7月5日（土）・9月27日（土）・11月29日（土）・ 1月24日（土）・3月28日（土） 御幸交流館 柳原集会所 福山平成大学	○「訪問活動」はまだ実施できていないが、「サロン活動」が実施できていること。また、認知症や支援の在り方、地域福祉部会として学び場が持たたので、今後に生かすことができると思う。 ○高齢者も参加できる、モルックを開催できたことで、サロン等での楽しみ方の内容が増えた。 ○「みゆきよりみちかふえ」運営協力活動では、平成大学での学びが復活できたので、より多くの参加者を迎えることができた。	○次年度では、認知症の方をはじめ高齢者の孤立不安を軽減する取り組みを進める。（「まちづくりミーティング」等検討会議を踏まえて） ○毎年の活動を、これからも縮小することなく持続できるようにする内容の検討とそれぞれの活動を担う人材の確保が課題である。 ○高齢者も参加しやすい行事を引き続き開催する。	①～⑥ 地域福祉部会会議
3	絆づくり事業	①御幸町盆踊り大会 8月11日（月） 御幸小学校体育館 約150人 ②三世代ふれあいグラウンド・ゴルフ大会 9月14日（日）御幸小学校 85人 ③みゆきフェスタ2025・第44回町民文化祭 11月21日（金）～11月22日（土） 御幸小学校・御幸交流館・幸千ふれあいプラザ・あんずの家・みゆき広場 ④みゆき百選スタンプラリー 11月29日（土） 上岩成地域 90人 ⑤ばら育成活動 ・ばら接木講習会 1月23日（金） 御幸交流館 10人 ・ばら剪定講習会 9月 7日（日） 森脇中公園 10人 9月14日（日） 正戸ばら花壇 9人	○盆踊り大会やみゆきフェスタ・町民文化祭など、大勢の学区の方が参加したことで世代間を超えた様々な方との意識の共有ができた。 ○学区独自の盆踊りやふるさと再発見活動などでは、地域文化を継承し継続的に自分の住む町の歴史学習ができた。 ○ばら育成活動では、従来のばら花壇維持・管理に対して、	○各活動が毎年開催できるよう、参加団体の協力や運営方法の見直し・工夫と次世代への継承の方法などを考えていくことが今後の課題である。 ○企画・開催していくなど、多くの学区住民が集えるイベントを開催することで、顔の見える関係を作る。	①～④ 実行委員会会議 ⑤総務・広報部会会議 ⑥地域福祉部会会議 ⑦～⑨ 地域文化部会会議 ⑩本部役員会会議 ⑪実行委員会会議

3	絆づくり事業	<p>2月 8日(日) 正戸ばら花壇 10人  3月 1日(日) 森脇中公園 16人  ・つるばらの仕立て講習会  12月 6日(土) 森脇中公園 11人  ・花壇整備活動 通年 森脇中公園・正戸ばら花壇  ⑥三世代交流折り紙ヒコーキ教室  10月 4日(土) 御幸小学校 45人  ⑦みゆき文庫  ・本の貸し出し・読み聞かせ 毎週土曜日 御幸交流館  ・小さなおはなし会 年7回  ・12月11日(木)クリスマス会 御幸交流館 30人  ・図書室リノベーション 本の紹介カード・本棚作製  ⑧「ふくやま東部文化フェスタ2026」2月1日(日) 東部市民センター  ステージ発表 御幸音頭保存会・体育会21人 展示 御幸小学校  ⑨ふるさと再発見活動 毎月1回 御幸交流館 20人  ⑩環境美化啓発活動  ⑪映画「長いお別れ」上映会 御幸小学校</p>	<p>小、中学生のボランティア活動が組み込まれ、地域活動の活性化の起爆剤になりそうである。  ○映画「長いお別れ」を多くの住民が鑑賞し、認知症になっても支えあえる絆づくりのきっかけとなった。</p>	<p>○「まちづくりミーティング」を開催して、意見を出し合い課題をみんなで共有し、いかに具体化していくかがこれからの課題である。</p>	
4	広報事業	<p>①ホームページ運営活動 通年 御幸交流館  延べ閲覧数58,211(2026年3月10日現在)  ②広報紙発行活動  「みゆきレポート」77・78・79・80号発行  ③あいさつ運動 幟旗・ポスター作成、自治会・町内会で掲示  ④福山明るいまちづくり協議会協賛活動</p>	<p>○HP閲覧数は、確実に増加し、さらにその内容が小学校の授業にも取り入れられていることにより、まちづくりの活動に関心を持つ世代が着実に広がつつある。  ○「みゆきレポート」は、カラー印刷化したことで住民の関心を高め、情報伝達の強化を図ることができた。  ○あいさつ運動では、幟旗・ポスターを作製・配布し継続して呼びかけた。そして、あいさつ励行を実践する小中学生へのより身近なアピールにもなった。</p>	<p>○HPでまちづくり推進委員会や関連団体(小中学校も含む)の取り組みを随時発信してきた。さらに魅力ある情報発信を更に創造していく。特に、小中学生の地域ボランティア活動など、若者が地域参画する姿を紹介し、さらなる若者参画を推進していく。「まちづくりミーティング」検討会議を踏まえて)  ○引き続き、HPにアップする原稿の増加・内容の精選及び携わるメンバーを広げていくことも必要である。自治会・町内会行事も発信していく。</p>	①～④ 総務・広報部会議
5	コミュニティ育成事業	<p>自治会(町内会)単位によるコミュニティ育成活動</p>	<p>○どの町内会においても、活動の経費として健全に使用されており、各町内会活動の活性化に役立ててもらっている。</p>	<p>○町内会構成員の高齢化や役員への担い手不足等に伴い、町内会活動の縮小や休会に追い込まれる組織が出てきているので、無理なく町内会が存続運営できる柔軟な体制づくりを考える必要がある。</p>	本部役員会
6	まちづくり推進委員会運営事業	<p>・総会の開催  ・本部役員会の開催  ・部会長会の開催  ・企画調整会議</p>	<p>○まちづくりの4部会のメンバーや各団体のメンバーとの協力体制が維持強化されてきた。</p>	<p>○自分の住む地域を愛する、若い世代を如何にして開拓し、今の世代のメンバーと共に運営・活動しやすい体制を如何にしてつくっていくか。  参画委員に入ってもらおう。</p>	総会 本部役員会 部会長会

## 監 査 結 果

2025年度(令和7年度)御幸学区地域まちづくり推進事業の決算について、証拠書類及び関係帳簿の監査をいたしました結果、正確かつ適正に事務処理が行われていることを確認しました。

2026年(令和8年) 3月31日

御幸学区まちづくり推進委員会

監 査 門 井 剛 史

監 査 川 村 泰 弘